

産業サイバーセキュリティ研究会 WG1（制度・技術・標準化）工場 SWG（第3回）議事要旨

日時 : 令和4年3月23日（月）18時00分～19時00分

構成員 :

- |          |   |
|----------|---|
| （座長）江崎 浩 | 東京大学大学院 情報理工学系研究科教授   |
| 岩崎 章彦    | 一般社団法人電子情報技術産業協会 セキュリティ専任部長   |
| 榎本 健男    | 一般社団法人日本工作機械工業会<br>技術委員会標準化部会電気・安全規格専門委員会委員<br>（三菱電機株式会社名古屋製作所ドライブシステム部 専任）   |
| 桑田 雅彦    | 日本電気株式会社<br>デジタルネットワーク事業部 兼 サイバーセキュリティ事業部 兼<br>デジタルプラットフォーム事業部 シニアエキスパート<br>ソフトウェアアドバンステクノロジスト（サイバーセキュリティ）<br>（Edgex・GUTP 合同工場セキュリティ WG リーダー） |
| 斉田 浩一    | ファナック株式会社 IT 本部情報システム部五課 課長   |
| 佐々木 弘志   | フォーティネットジャパン合同会社 OT ビジネス開発部 部長<br>（IPA ICSCoE 専門委員）   |
| 斯波 万恵    | 株式会社東芝 サイバーセキュリティ技術センター 参事<br>（ロボット革命イニシアティブ（RRI）産業セキュリティ AG）   |
| 高橋 弘宰    | トレンドマイクロ株式会社 OT セキュリティ事業部<br>OT プロダクトマネジメントグループ シニアマネージャー   |
| 中野 利彦    | 株式会社日立製作所 制御プラットフォーム統括本部<br>大みか事業所 セキュリティエバンジェリスト   |
| 西雪 弘     | 三菱電機株式会社 FA ソリューションシステム部 部長   |
| 藤原 剛     | ビー・ユー・ジーDMG 森精機株式会社<br>制御開発本部コネクティビティー部 副部長   |
| 松原 豊     | 名古屋大学大学院 情報学研究科准教授  |
| 村瀬 一郎    | 技術研究組合制御システムセキュリティセンター 事務局長   |
| 渡辺 研司    | 名古屋工業大学大学院 社会工学専攻教授   |

議題：

1. 開会
2. 「工場セキュリティガイドライン(案)」について
3. 自由討議
4. 閉会

要旨：

## 1. 「工場セキュリティガイドライン(案)」について

- ・ 資料 3、4 を事務局より説明

## 2. 自由討論

### (1) 編集的な観点でのご意見

- ・ 資料 4 “2. 本ガイドラインの想定工場”は文章で書かれているより、資料 3 p.4-5 のような図がある方が読みやすい。
- ・ 複数回出る図や、冗長な箇所がある。
- ・ 資料 3 の p.6「セキュリティ対策企画・導入の進め方」について、ステップ 3 以降、ステップ 1 に戻るのか、あるいは他のステップが増える等はあるのか。
  - ステップ 3 で得られた情報が、ステップ 1 に反映されるということもあると思うので、ステップ 3 の次はステップ 1 に戻ると考えている。
- ・ ステップ 1～3 が繰り返される想定とのことだが、ループを回すという記載がなかった。前後いずれかに追記した方がよい。
- ・ 資料 4 は Edgecross のレビューが進んでいるため、整合の確認を取った方がよい。
- ・ 「参考」にも有用な情報が記載されているため、目次で鳥瞰できるとよい。
- ・ 表番号などの見直しが必要。この際、図番号が埋め込まれてしまっている図に注意。

### (2) 公開に対するご質問・ご意見

- ・ コメントも十分に仕分けして反映しており、ここまでできたなら早く世に出すことが望ましい。

- ・ スケジュールの詳細をお示しいただきたい。
  - 英訳等の事務作業は並行して行いつつ、日本語資料については本日審議会の結果も踏まえて速やかにパブコメのプロセスに移りたいと考えている。
- ・ 資料 4 は HP で公開されるとのことだが、それに対してパブコメをかけるのか。
  - 資料 4 は SWG の資料として速やかに公開する予定だが、パブコメに使用するバージョンは、本日のご意見を反映したものとする予定である。

### (3) 今後の改訂に関するご意見

- ・ パブコメにて様々な意見が上がってくると思う。対応するもの、今後の参考とするもの、記載はあるが勘違いしているもの、対象外となるものに分けられると思うが、その中でも勘違いをしたコメントが非常に重要である。つまりこちら側の意図が伝わっていない点であるので、最終版を策定する際には、そのような意見を SWG の検討の俎上に載せていただきたい。
  - バイアスを排除するのに貴重なご意見と考えている。意見一覧を作成し、どう取舍選択したか、このような場を設け議論したい。
- ・ 今後の改訂の頻度や読者のコメントをどうやって反映していくのかを伺いたい。これを工場内でのように使われているのかは非常に気になるところであるが、その吸い上げをどうするのか。
  - どのように改訂するかについては、CPSF の改訂スキームについて、WG1・分野横断 SWG 合同会議で議論したいと考えている。例えば意見を受け付ける窓口を HP 等に設け、技術的な修正についてクイックに対応できる仕組みを作っていけないかと考えている。今回のガイドラインは様々な業界・企業に使っていただくことを想定している。どのように使われていくかは注視したい。
- ・ 今回ご協力を頂いた自工会殿や JEITA 殿等ユーザ団体をフォローし、フィードバックをいただけるようお願いしたい

### (4) ガイドライン案の承認

- ・ 本日頂いたご意見を踏まえて事務局で追記・修正してパブコメ案を作成する。技術的、編集的な部分で追加でコメントがあれば、4 月 1 日までに事務局まで送付いただく。
  - (一同承認)

(以上)